

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪みらい

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)淀川区三国本町1丁目計画 新築工事		
建設地	淀川区三国本町1丁目		
建物用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
竣工年	2028年1月 予定		
構造/階数	RC造 / 地上15階		
敷地面積	1457.08 m ²		
建築面積	487.36 m ²		
延床面積	5428.60 m ²		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+
BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	88%
③上記+②以外のオンサイト手法	88%
④上記+オフサイト手法	88%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	2.5
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.6
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.5
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	3.1
汚染物質回避	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ZEH-M Oriented相当の断熱性能とし、省エネルギー性の高い快適な室内環境をととのえられるよう努めた。		特になし
Q1 室内環境 使用する材料はF☆☆☆☆のものとし、快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 Gbitクラスのブロードバンド設備を整備し、建物の機能性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には中庭を設け、風や光が通り抜ける開放的な空間を設けた。
LR1 エネルギー 高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を下げるよう配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率の削減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	気象台既存データを用いて風向風速卓越風などの風環境を把握している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.5
配慮事項	高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級5 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI] 0.75	非住宅部分[BEI][BEI _m] -